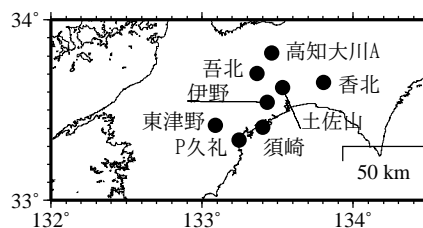
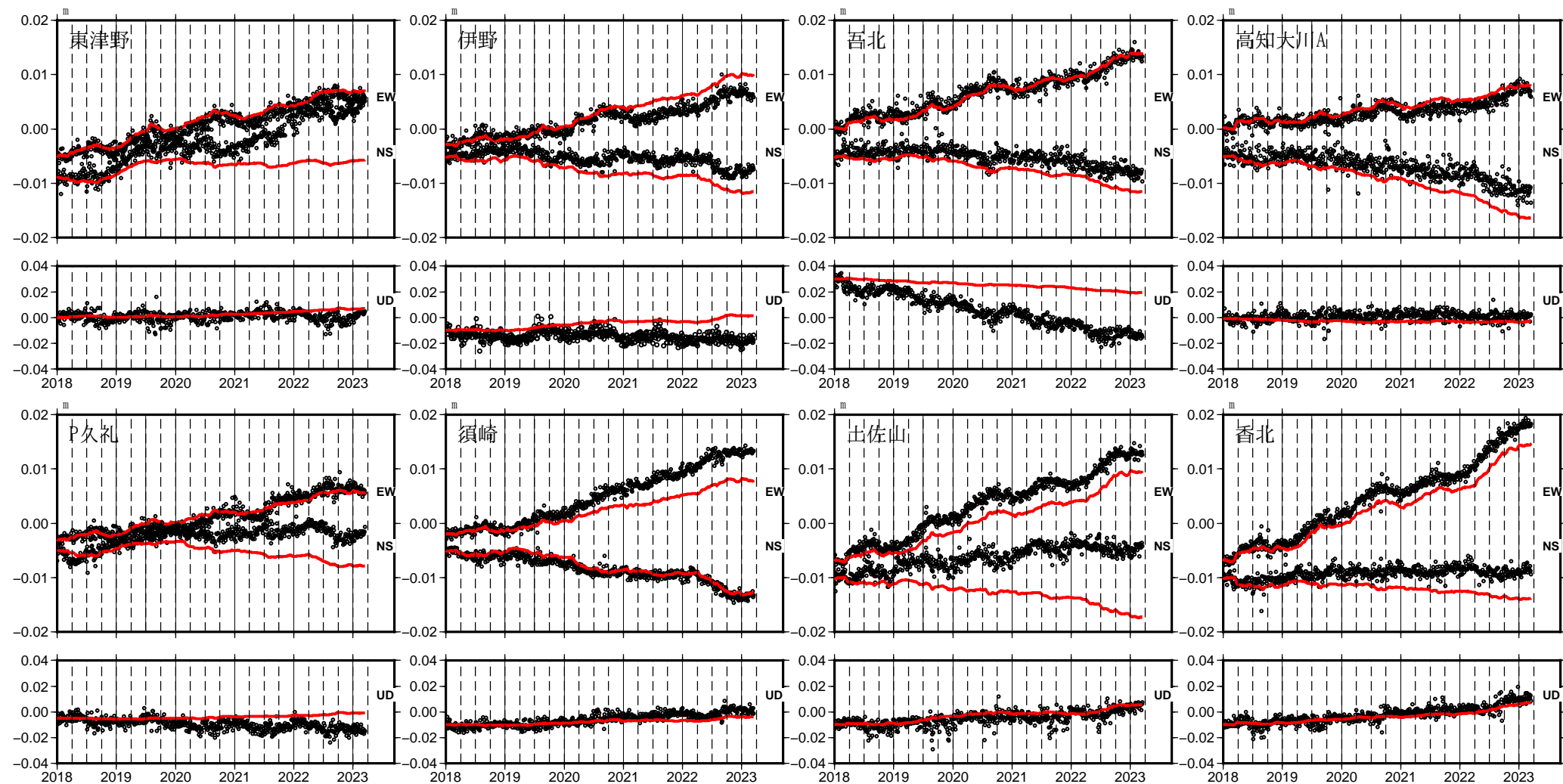


四国中部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

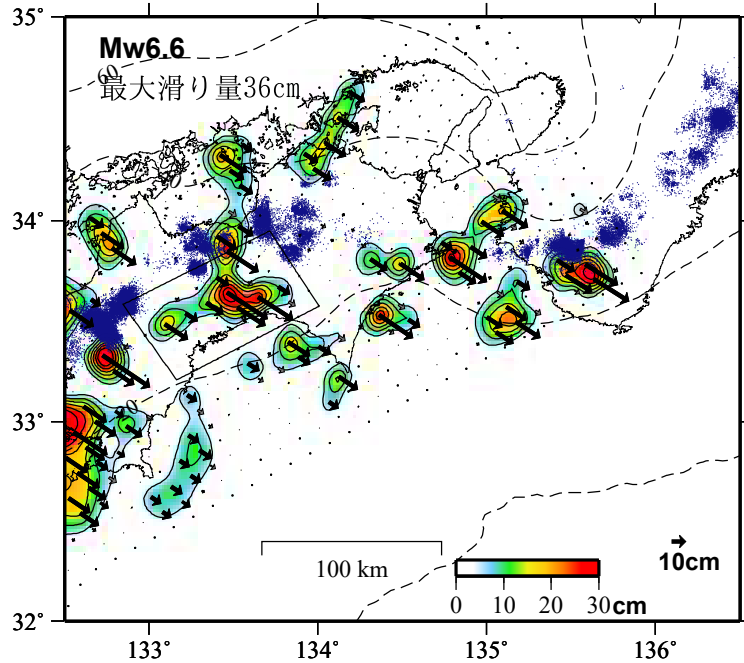
時間依存のインバージョン



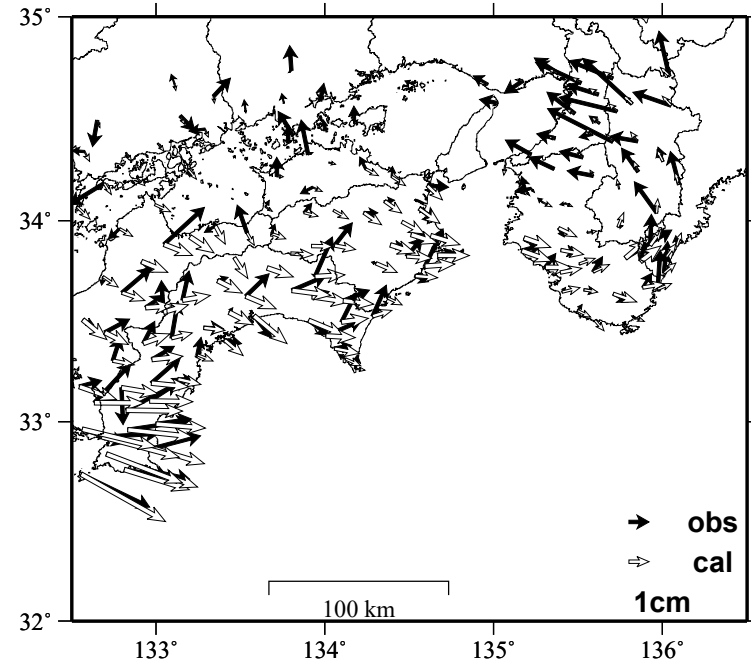
EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

# GNSSデータから推定された 四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

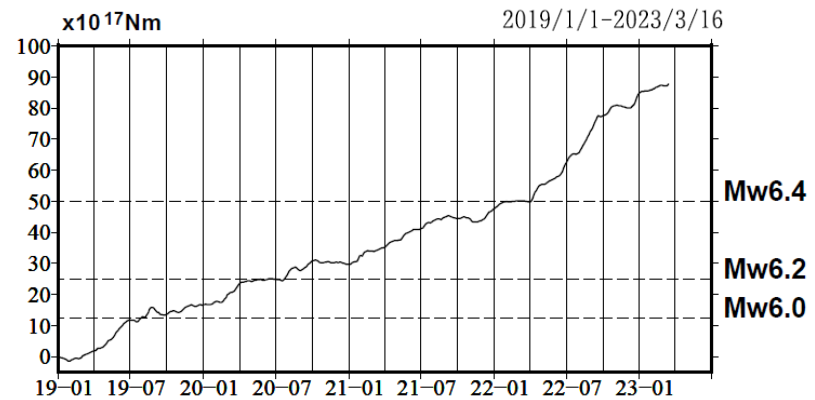
推定すべり分布  
(2019/1/1-2023/3/16)



観測値（黒）と計算値（白）の比較  
(2019/1/1-2023/3/16)



モーメント\*時系列（試算）



\*モーメント  
断層運動のエネルギーの目安となる量。  
地震の場合のMw（モーメントマグニチュード）に換算できる。

Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)  
F5解(2019/1/1-2023/02/25)+R5解(2023/02/26-2023/3/16)  
トレンド期間: 2017/4/1-2018/4/1（年周・半年周成分は補正なし）  
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側  
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値  
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)  
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束  
青丸: 低周波地震（気象庁一元化震源）（期間: 2019/1/1-2023/3/16）  
固定局: 上対馬

- \*電子基準点の保守等による変動は補正済み
- \*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(suito, 2017; 水藤, 2017)。
- \*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的SSEを補正している。